

郷土歴史講演会

三小の道徳授業公開日に、3年生、保護者、地域の皆さんと滝澤 福一先生（郷土資料館館長）の講演をお聞きしました。享保年間、江戸幕府は新田開発を推進し、富士山栗原新田ができました。明治8年に駒形富士山村、明治22年に元狭山村が誕生しました。村の歴史や人々の関わりを分かりやすく学びましたので、いくつかの事例を紹介します。

- ①駒形富士山の五輪様の柿の木の下にある二基の五輪塔は甲斐武田家の家臣のものといわれ、柿の木は推定樹齢300年で町の天然記念物に指定。
- ②日光街道沿いにある馬頭観世音は牛馬を手厚く葬ったところもあり、交通安全の守り神となっています。昔は牛馬が大切な交通手段でした。
- ③高根町の神輿は幕末の頃、地元の宮大工・伊東清右衛門氏が造ったもので昨年町の有形民俗文化財に指定。あだち流の祭囃子もこの頃伝わり、以来140年にわたり高根町の祭礼を盛り上げています。
- ④狭山茶の普及に貢献した、吉川 温恭氏、村野 盛政氏の業績が現在の茶場に発展してきたことは狭山茶の伝統を感じます。
- ⑤明治27年、現在の地に元狭山小学校ができました。当時の教科書が町の郷土資料館に保存されています。校庭の大桜は樹齢80年とのこと。

閉会の挨拶は、3年生代表が「もっと勉強して昔のことを知りたくなりました。そう思えたのも滝澤先生がいろいろなことをひとつひとつ丁寧に教えてくださったからだと思います」と述べ、私たちの気持ちも代弁していただきました。石川 朝子

これ何？

友人から届きましたこの物体、あまりの見事さにこれは家に持ち帰り、家族だけで楽しむより、「シルバーまちがど」に置いて、多くの皆さまに観賞していただいた方がよいなと思い、昨年11月よりいまだに健在でいます。「えっ！これ何？」アヒル、白鳥、ツチノコ、ヘビ、等々、さまざまなものに似ており、さまざまな名前がつけられ、皆さん大喜びで見入り、携帯電話で写真を撮ったりと大変な反響を呼びました。

「私の名前はサツマイモ！」
見事に掘り出しました友人に感謝。と同時に、私の胃袋に収まることはなくなりました。残念！
岩田 美智子



いつか来るその時のために

―被災地から学びたいまじきこと―

1月27日、町民会館で、男女共同参画社会推進事業として、防災についての講演会が開催されました。

講師は「NPO法人男女共同参画おた」に勤務され、主に防災に関する講演や研修の企画、運営を行っている青木千恵さんと同じく防災、危機管理などの研修を行っている日向野みどりさんです。

最初に青木さんから、女性の視点から見た防災について講演がありました。東日本大震災の支援では、被災した女性のプライバシーが守られていないとの指摘がありました。

続いて日向野さんからは、防災グッズを手に取りながら、災害への備えについての説明がありました。非常持ち出しには履物も加えたら、との意見もあり、早速我が家の非常持ち出し袋に加えました。

この講演から、いつ大地震が起きてもおかしくないという危機感を持つこと、またそれに対する適切な備えをすることにより、怪我を最小限に食い止めることができ、震災後の不自由さも大きく軽減できること、そして避難所生活での女性のプライバシーは、男性の側でもっと配慮すべきことなどを感じることができました。

川口 尊

新体操

★お気軽に見学へいらしてください。
団体名 フィリアRG 瑞穂
日時 毎週火曜日（月4回）
午後5時～6時30分
場所 四小体育館、中央体育館
対象 幼児から
定員 15名
費用 月会費 4,000円
問合せ 西山 ☎090-9382-5537

テニス

団体名 瑞穂ジュニアソフトテニス
日時 毎週土・日曜日、祝日
午前8時～正午
場所 町営第2庭球場
対象 小学生
費用 月会費 900円
スポーツ保険 800円
持ち物 ソフトテニスラケット（貸出可）
問合せ 古橋 ☎090-1558-0233

演劇

★劇団TANE 旗上げ公演「大きなかぶ」
団体名 劇団TANE
日時 3月10日(日)
午前11時開場
11時30分開演(30分程度)
場所 長岡コミュニティセンター2階実習室②
対象 お子様からお年寄りまで
費用 無料
問合せ 井垣 ☎090-8496-7638

英語教室

団体名 ユハナのEサークル
日時 水曜日（月2回）
▶午後3時～3時35分
▶午後3時40分～4時15分
場所 長岡コミュニティセンター
対象 2歳～小2まで（平成25年4月現在）
費用 月会費 1,500円
問合せ 津田 ☎090-2045-3868



みんなのページ

町ホームページ掲載の「まちがどレポート」もご覧ください

情報特派員の皆さんからのレポートは、「広報みずほ」に掲載した記事以外を、町ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。



登校のひつじ

「もしもし、毎朝交通整理をしてくれている久保さんのおばさんちですか。この頃見えないけど、どうしたの？いつ出てくれるの？」3・4年生くらいでしょうか。聞きなれない男の子の声で電話がありました。「ん？どなたかな？心配かけてごめんね。おばさん大丈夫よ。近いうちまた旗振りに出られるから…」言い終える前に電話が切れました。私が少々体調が悪く、駐在さんご夫妻にもご苦労をおかけしていますが、朝7時20分頃から約1時間程度、武蔵野駐在所前の斜め交差点で小・中・高校生の登校にお付き合いをしています。この電話の小学生はどの子でしょう、と思いを巡らせました。

「おばさん、血が出ちゃった」と遠慮なくパンツまで下げる男の子、「おばさん貼って！」と絆創膏をねだる子、「ポケットティッシュください」という子、旗を持ちピッピッと鳴らしたがるおどけた男の子。信号が青に変わって子どもが渡り、停止している車の方々にも会釈をし、ドライバーの方々も笑顔…そんなひとときが気持ちを和ませ、私をやる気にさせているのかもね。限られた時間内に子どもを送り終え、同じ車が通り、同じ人々がバス停に向かい、元気な方々は箱根ヶ崎方面へ歩いて向かっていますが、そんな変わらない毎日が人々を元気にさせているのです。

四小の校長先生がゴミ袋を2つも持ち、子どもたちに元気に声をかけながら見回ってくださっていますが、そんな先生の背を見て育っている子どもたちです。みんな、みんな、いい子たちです。家に戻ると四小からの朝礼なのでしょう。元気な校長先生の声が風に乘って聞こえてきます。

「ああ今日が始まり、今朝も終わった！」とひと息つけるひとときです。電話くれた男の子、そのご父兄にもありがとうを言いたいです。僕、もう少しだけお医者さんと仲良くさせてね。電話ありがとう。おばさん頑張るからね。」

久保 好子

